



東日本・家族応援プロジェクト in ふくしま2021



白河市中心市街地市民交流センター

会場：マイタウン白河

〒961-0905 福島県白河市本町2

12/04
(土)

主催：立命館大学大学院 人間科学研究科 共催：NPO法人 しらかわ市民活動支援会
協力：一般社団法人 未来の準備室、特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

無料

MERRY CHRISTMAS

白河のみなさま こんにちは、！
福島県での開催は今年で10年+1年になりました！

毎年大人気の自分だけのクリスマスカレンダー作り、木のおもちゃで遊ぶコーナー、家族をテーマにした漫画の展示と作者による漫画トークなどを行います。コロナ感染拡大防止のため参加できる人数が制限されていますが、一緒に楽しいひとときを過ごせたらと思います。ご参加お待ちしております！！



カプラに挑戦しよう 作る楽しさと崩す楽しさ

講師：小磯 厚子（おもちゃコンサルタントマスター）



入退場
自由

時間：10:00～11:00

場所：2階 多目的スペース

対象：4歳（年少）から

10:00: オープニング

ナイアガラ実施
カプラで遊ぶ
かまくら体験

11:00: 終了

みんなでかたづけ



「カラカラ…」と崩れる音の心地よさ。
「崩れても、もう1回！」木琴のように美しい音が、挑戦の気持ちをそっと後押し。

Xmasカレンダーを作ろう！

講師：村本 邦子（立命館大学教授）

12月、クリスマス待つ毎日。1日いちにちを一つずつお菓子を食べながらカウントダウンしませんか！自分だけのクリスマスカレンダーを手作りして、クリスマスまでの日々を楽しみましょう

開場は13:15から
時間：13:30～15:00

場所：2階 中会議室1、2

対象：5歳（年中）～9歳（小学3年生）の子どもと保護者
（保護者同伴で参加できる方に限ります）

持物：工作用ハサミ、ボンド、セロテープ

～アンケートより～

おかしをくっつけたり、かざりをつけたりしてたのしかった。
材料などたくさん用意していただいたので、満足いくものが作れました。とても楽しいイベントでした。



申込み方法は裏面をご覧ください。



さりげない家族の日常や長く家族支援をしてきた経験からすくいあげられた誰かの小さな物語。それが漫画『木陰の物語』です。



講師：団 士郎
立命館大学客員教授
家族心理臨床家
漫画家

団 士郎の 漫画トーク

開場は10:15から
時間：10:30～12:00
場所：2階 中会議室2

家族はたくさんの思いがけない悲しみや苦しみを運んできます。しかし一方、家族を得ることが、こんなにも自分の人生を豊かしてくれるのだと実感する人もたくさんいます。そんな家族への思いから作られた『木陰の物語』。活動10+1年を迎えた今の気持ちなどをお話したいと思います。
お時間が合いましたら是非ご参加ください。

予約
不要



団 士郎家族漫画展

期間：12月1日（水）～7日（火）午前まで
場所：1階 エントランスホールB



私たちの物語は、日常の中で家族と関わり、誰かに出会い、時とともに紡がれていきます。私たち一人ひとりの中に固有の小さな物語があり、「思い出」と名付けた記憶の束を抱えて生きています。



何かのきっかけでその物語が大きく損なわれ、希望や未来まで失われたりした時、何もかもが消え去ってしまったような絶望や孤独が人を追い詰めます。



誰かの小さな物語に触れることで、読む者のこのころの中に自分の物語が甦り、名も知らぬ誰かと自分を重ね合わせ、また一歩踏み出せる力を私たちは持っているのではないのでしょうか。

◇講師紹介・お申込みの詳細は裏面をご覧ください

東日本・家族応援プロジェクト in ふくしま2021

◇「東日本・家族応援プロジェクト」について

立命館大学大学院人間科学研究科の東日本・家族応援プロジェクトは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、社会への応答責任を果たすひとつの形として2011年から10年間、毎年、東北4県で東日本・家族応援プロジェクトを開催し、遠くから細く長く、十年間、東北4県を巡り、現地の対人援助機関との協働によって対人援助学的実践をしながら、被災と復興のwitness（証人・目撃者）になることを目指してきました。同時に、これをPBL（プロジェクト型学習）として大学院教育のなかに位置づけ、地域に学びながら、地域で活躍する対人援助職者、地域に立ち上がる多様な声に耳を傾け権利の実現を支援することとして社会に貢献する研究者を養成してきました。



◇講師の紹介

Xmas カレンダーを 作ろう！	村本 邦子（立命館大学大学院人間科学研究科 教授/臨床心理士） サポート： 白河市在住の高校生たち&立命館大学大学院人間科学研究科院生たち 1990年女性ライフサイクル研究所を設立。子育て支援や女性と子どものカウンセリング（とくに虐待やDV）に取り組む。阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などのコミュニティ支援に関わる。本企画の中核的存在 【主な著書】「周辺からの記憶：三・一一の証人となった十年」（国書刊行会）、「臨地の対人援助学：東日本大震災と復興の物語」（晃洋書房）、「対人援助学の到達点」（晃洋書房）、「暴力被害と女性：理解・脱出・回復」（昭和堂）など
カプラに 挑戦しよう	小磯 厚子（NPO法人 しらかわ市民活動支援会 おひさまひろば副代表、おもちゃコンサルタントマスター） サポート： 白河市在住の高校生たち&立命館大学大学院人間科学研究科院生たち 「おもちゃコンサルタント」は優良なおもちゃや遊びをバランスよく与えることのできる「遊びの栄養士」。良質なおもちゃの普及や活用方法について教えてください。福島県内でグットイを使っておもちゃの広場を開催しています。今回はカプラを使って「作る楽しさ、崩す楽しさ」を体験しよう。
団 士郎 家族漫画展 & 漫画トーク	団 士郎（立命館大学客員教授/家族心理臨床家/漫画家） 1947年京都生まれ。児童相談機関、障害者相談機関の心理職25年を経て、1998年に独立。仕事場D・A・Nを主宰。2001年から立命館大学教授、2020年定年に伴い立命館大学客員教授に。 全国で継続的に家族療法のワークショップを開催するほか、講演会も数多く開いている。社団法人・日本漫画家協会会員。漫画集団「ばむ」同人。 【主な著書】「不登校の解法」（文春新書）、「家族力×相談力」（文春新書）、「わが子が小学校に上がる前に読みたい木陰の物語」（ホンプロック）、「家族の練習問題～木陰の物語～第1巻～8巻」（ホンプロック）など 《漫画トーク参加者アンケートより》 ・いつも団先生のトークを聞き、もっと早く（子育て中に）聞きたかったと思っています。私の子どもも不登校になり、自分と子どもがその家を出て、変えた経験があります。なんとなく自分の事とかぶり、次は息子の（まだ結婚はしていませんが）子育ての参考に団さんの話を伝えたいと思います。 ・漫画を1作品見た後の語り合いで他の方の感想をお聞きできて興味深かった。 《漫画展来場者アンケートより》 ・重いテーマが多いのですが、ほんわかしったタッチの画のおかげで読みやすかったです。これからも活動頑張ってください。 ・共感する部分や、ハッとさせられる部分があり、有意義な時間を過ごせました。自分や他人と話し合うことは難しいけど、人としてやっていかないとあななんて思いました。ありがとうございました。

◇「Xmasカレンダーを作ろう」参加申込み方法



- ◆ 募集対象定員： 5歳（年中）～9歳（小学3年生）の子どもと保護者1名を1組として12組
・ 上記年齢枠内の兄・姉の参加希望があれば、1組として受け付けます。
・ 保護者（1名）同伴で参加できる方に限ります。
- ◆ 受付期間：11月22日（月）午前9時より 締切：11月25日（木）午後5時まで
・ 期間中定員に達した時点で、締切らせていただきますのでご了承ください。
・ ご参加いただける方には、11月27日（土）までに、メールでご連絡させていただきます。
- ◆ 申込方法： 専用フォームQRコードを読み取ってください。
- ◆ お問い合わせ先： 立命館大学大学院人間科学研究科
東日本・家族応援プロジェクト事務局
ejfspj2011@gmail.com

